

浜中町役場新庁舎建設実施設計（概要版） 平成30年9月



1	設計の基本方針	・・・・・・・・・・	1
2	計画概要	・・・・・・・・・・	2
3	防災計画	・・・・・・・・・・	3
4	平面計画	・・・・・・・・・・	4～6
5	立面計画	・・・・・・・・・・	7
6	環境配慮計画	・・・・・・・・・・	7
7	内装・ユニバーサルデザイン計画	・・・・・・・・・・	8
8	設備計画	・・・・・・・・・・	9
9	工事工程計画	・・・・・・・・・・	9



役場新庁舎イメージ（駐車場側）

浜中町役場新庁舎建設基本計画における4つの基本理念と整備方針

基本理念1

防災機能が充実した庁舎

整備方針

- ・災害時に行政機能を維持できる庁舎
- ・防災機能を集約した庁舎
- ・災害時の一時避難場所として活用できる庁舎

基本理念2

効率的な行政サービスが可能な庁舎

整備方針

- ・窓口のワンストップ化など、効率的な窓口サービスを提供できる庁舎
- ・快適な窓口環境が整った庁舎
- ・相談サービスの環境が整った庁舎
- ・ユニバーサルデザイン化された庁舎

基本理念3

省エネルギーや環境に配慮した庁舎

整備方針

- ・省エネルギー、自然エネルギー等を活用した環境配慮型庁舎
- ・豊かな自然環境に調和した庁舎

基本理念4

財政事情を考慮した庁舎

整備方針

- ・コンパクトな庁舎
- ・施設の維持管理費等、ランニングコストを抑制できる庁舎
- ・有利な地方債や補助制度等を最大限活用した庁舎



■ 役場新庁舎建築概要

主要用途	庁舎
階数	地上3階建
構造種別	鉄筋コンクリート造
構造方式	基礎免震構造
基礎種別	直接基礎
設計地盤面	42.0m
最高高さ	16.3m
建築面積	1,553.44 m ²
総床面積	4,206.16 m ²
延床面積	4,186.21 m ²
	※昇降機面積含まず

■ 役場新庁舎敷地概要

敷地所在	浜中町湯沸 445 番地ほか
敷地面積	18,466 m ²
【建築物】	
役場新庁舎	左に記載
防災発電棟	64.48 m ²
車庫棟 A	199.13 m ²
車庫棟 B	156.47 m ²
【駐車場】	
	一般車両 310 台
	(身障者用 4 台分含む)

■ 湯沸高台避難道路概要

道路種別	3種4級
車道幅員	8.0m (路肩含む)
歩道幅員	2.5m (新庁舎敷地側のみ)
道路延長	675.6m
付属整備	歩行者用トンネル 25.0m
	避難階段① 6.3m
	避難階段② 79.2m
	テレビ中継局接続道路 118.2m

■ 防災広場敷地概要

敷地所在	浜中町湯沸 446 番地 1
敷地面積	19,663 m ²
【建築物】	
防災貯留槽	108.80 m ² (上屋面積)
防災倉庫	195.67 m ²
【駐車場】	
	大型車両 11 台
	一般車両 36 台

3 防災計画

■新庁舎の安全性

整備方針「災害時に行政機能を維持できる庁舎」となるよう、新庁舎は、津波により浸水被害を受けない高台に建設し、構造方式を大地震にも躯体損傷が生じにくい免震構造とすることで、防災拠点となる安心・安全な庁舎といたします。

■拠点避難地機能

整備方針「災害時の一時避難場所として活用できる庁舎」となるよう、周辺地区住民の避難場所として必要な機能を確保いたします。

●避難者収容能力 580人

災害時は、1階の集会室等及び3階フロア全体を一時避難場所とし、隣接して配置する災害備蓄庫には、避難生活に必要な非常食や寝具類、生活用品などを備蓄いたします。

●駐車可能台数 310台

災害時に周辺地区住民の大半が車で避難すると想定し、可能な限り駐車スペースを確保いたします。

●ライフライン途絶時対応

災害により、電気や水の供給が途絶えた場合でも避難生活に支障がないよう、各種の整備をいたします。

電力 防災発電棟内の非常用発電機より電気を供給いたします。

給水 防災広場内の防災貯留槽より新庁舎及び霧多布温泉ゆうゆへ給水いたします。

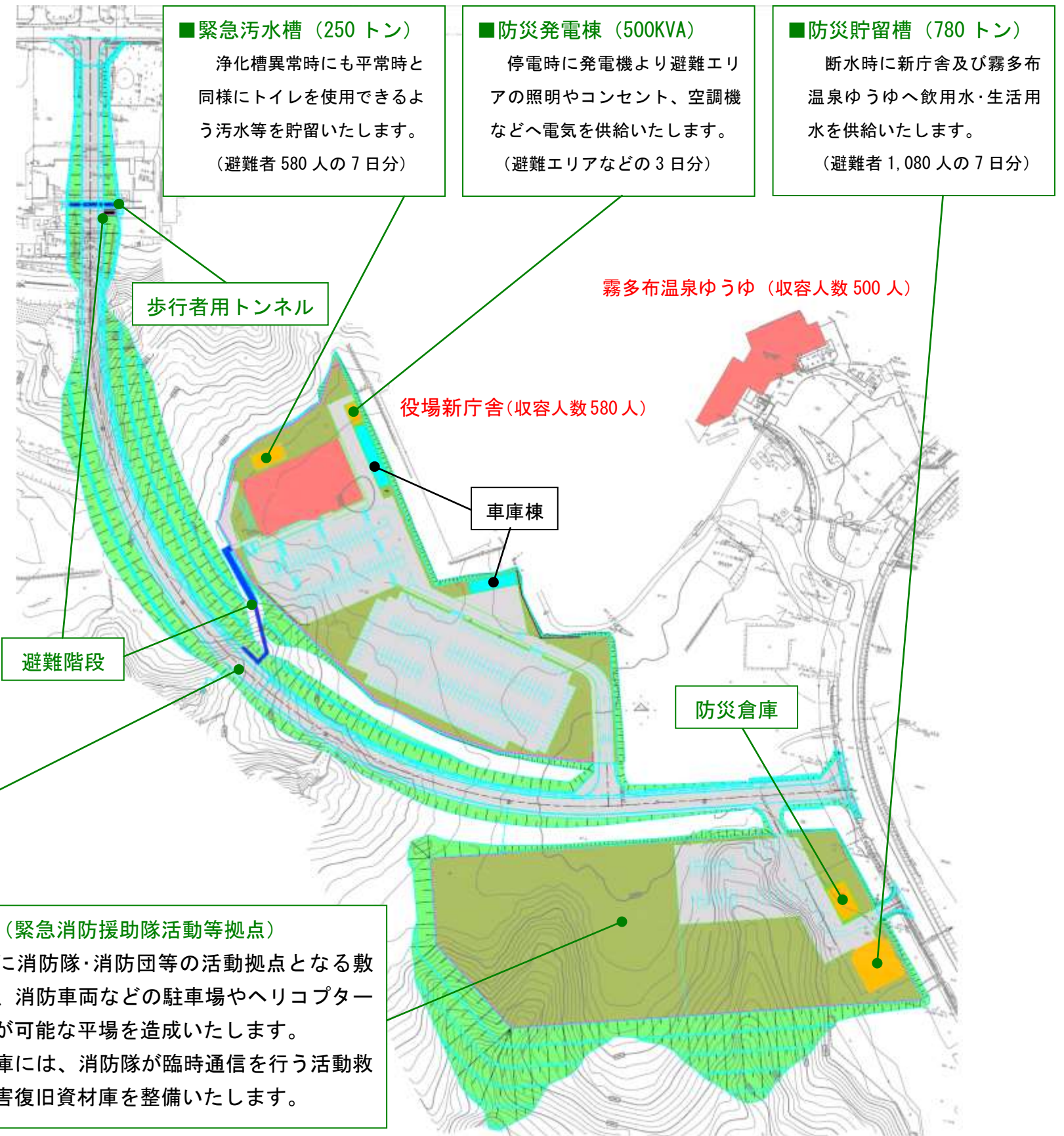
排水 新庁舎敷地内に緊急汚水槽を設置することで、浄化槽に異常が発生した場合でも、トイレなどの使用を可能といたします。

■湯沸高台避難道路

霧多布地区住民が湯沸高台の避難所へ速やかに避難できるよう避難道路を整備いたします。
また、歩行者用トンネルや新庁舎敷地へ繋がる避難階段を整備し、徒歩での避難環境の向上を図ります。

■防災広場（緊急消防援助隊活動等拠点）

災害時に消防隊・消防団等の活動拠点となる敷地として、消防車両などの駐車場やヘリコプターの離発着が可能な平場を造成いたします。
防災倉庫には、消防隊が臨時通信を行う活動救援室や災害復旧資材庫を整備いたします。



■緊急汚水槽（250トン）
浄化槽異常時にも平常時と同様にトイレを使用できるよう汚水等を貯留いたします。
(避難者580人の7日分)

■防災発電棟（500KVA）
停電時に発電機より避難エリアの照明やコンセント、空調機などへ電気を供給いたします。
(避難エリアなどの3日分)

■防災貯留槽（780トン）
断水時に新庁舎及び霧多布温泉ゆうゆへ飲用水・生活用水を供給いたします。
(避難者1,080人の7日分)

歩行者用トンネル

霧多布温泉ゆうゆ（収容人数500人）

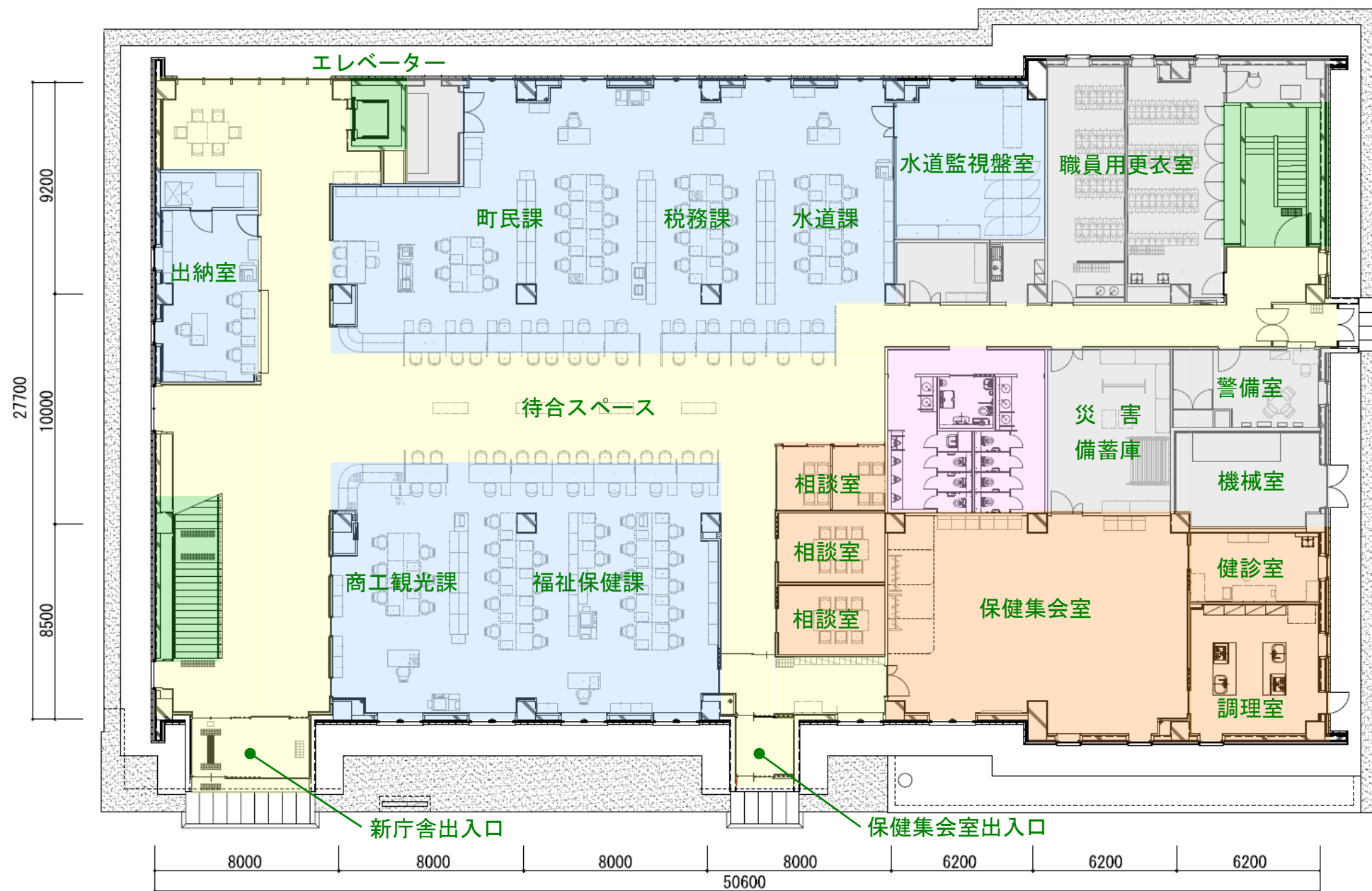
役場新庁舎（収容人数580人）

車庫棟

避難階段

防災倉庫

4 平面計画（1階）



	執務室
	会議室・相談室・集会室ほか
	廊下・共用スペース
	エレベーター・階段
	トイレ
	備蓄庫・書庫・機械室ほか



1階フロアイメージ

■ 1階平面計画

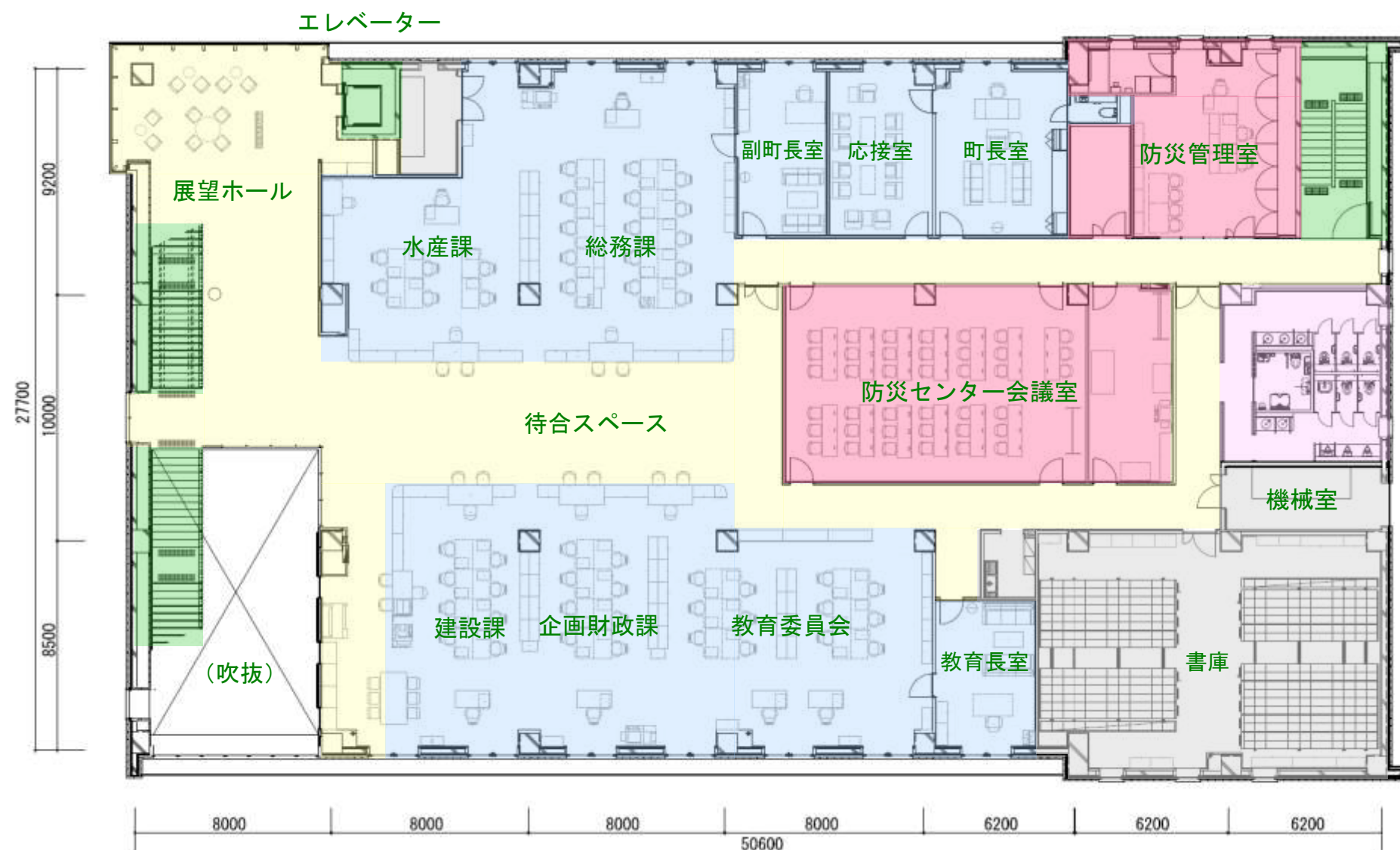
窓口サービスと保健サービスをメインとしたフロア

- ・新庁舎1階は、基本理念「効率的な行政サービスが可能な庁舎」となるよう、来庁者利用の多い窓口部署を集約し、窓口のワンストップ化が可能な平面計画といたします。
- ・来庁者が利用する部署を尋ねやすいよう、エントランスから見える位置に総合案内を配置いたします。
- ・窓口には、来庁者と職員が会話しやすいよう、パーティションで仕切ったローカウンターを設置いたします。
- ・来庁者が安心して相談できるよう、窓口付近に相談室を4室配置し、プライバシー保護に配慮いたします。
- ・各種の保健事業を実施する保健集会室は、専用の出入口を設けることで、利用しやすさに配慮いたします。



1階窓口カウンターイメージ

4 平面計画（2階）



	執務室
	防災対策諸室
	廊下・共用スペース
	エレベーター・階段
	トイレ
	備蓄庫・書庫・機械室ほか



2階フロアイメージ

■ 2階平面計画

行政機能と防災対策機能をメインとしたフロア

- ・新庁舎2階は、1階窓口業務以外の部署を配置いたします。1階と同様のレイアウトとし、来庁者のわかりやすさに配慮いたします。
- ・来庁者が、湯沸高台からの景色を眺めながら休憩できるよう、フロアの一角に展望ホールを設けます。
- ・災害時に災害対策本部となる防災センター会議室は、災害発生直後から町長と防災対策関係職員が迅速な連携・対応を図れるよう、フロアの中央に配置いたします。
- ・庁舎内から霧多布市街地や港湾を確認できる位置に防災管理室を配置し、各種の防災対策機器を集約いたします。

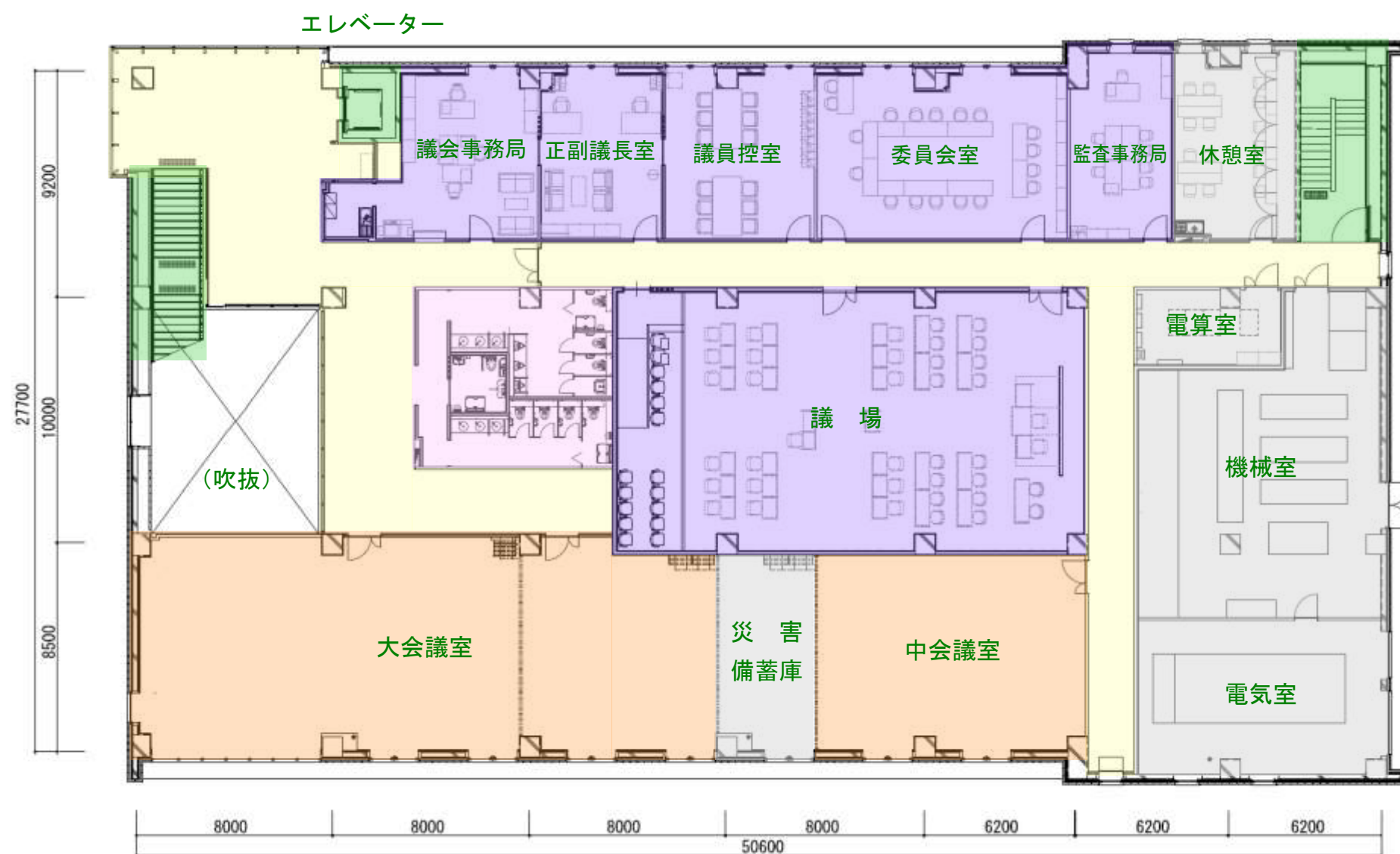
【集約する防災対策機器】

津波防災ステーション機器・防災行政無線機器・Jアラート・北海道防災情報システム機器・潮位計ほか



2階展望ホールイメージ

4 平面計画（3階）



議会議事諸室
会議室・相談室・集会室ほか
廊下・共用スペース
エレベーター・階段
トイレ
備蓄庫・書庫・機械室ほか



3階フロアイメージ

■ 3階平面計画

議会機能と会議機能をメインとしたフロア

- ・新庁舎3階は、議場をフロア中央に配置し、北側に議会関連諸室を集約させることで議会エリアの連携及び独立性に配慮いたします。
- ・議場は、将来のレイアウト変更にも対応できるように床はフラットな形状とし、傍聴席の通路にはスロープを設置するなど、誰もが出入りしやすく見やすい計画といたします。
- ・南側に大・中の会議室を配置し、更に使用人数に応じて分割して使用できるように可動間仕切りを採用いたします。
- ・議会エリアと会議室エリアの間にトイレを配置し、利用しやすさに配慮いたします。



3階議場イメージ

5 立面計画

整備方針「施設の維持管理費等、ランニングコストを抑制できる庁舎」となるよう、外壁には耐久性が高く張替補修が不要なレンガを使用することで、将来の改修費用を抑えます。また、外断熱工法やLow-E 複層ガラスを採用することで空調負荷を低減し、ランニングコストを抑制いたします。

新庁舎のデザインは、整備方針「豊かな自然環境に調和した庁舎」となるよう、レンガは白色系と土色系のやさしい色合いを組み合わせ、湯沸高台の景観に馴染むよう配慮いたします。

南側立面図（駐車場側）



北側立面図（霧多布市街地側）



6 環境配慮計画

整備方針「省エネルギー、自然エネルギー等を活用した環境配慮型庁舎」となるよう、新庁舎の照明及び冷暖房設備には、積極的に省エネルギー機器を採用いたします。

■照明

- ・ エントランスに設けた吹き抜けなどから自然光を取り入れるとともに、全館にLED照明を採用いたします。また、トイレには人感センサー、執務エリアには窓際の明るさに応じて必要照度を調節する昼光センサーを導入し、併せて照明電力を削減いたします。
- ・ 照明点灯区分を細分化することにより照明電力を抑制いたします。
- ・ 新庁舎のみならず、駐車場や避難道路の外灯なども、全てLED照明を採用いたします。

■冷暖房

- ・ 新庁舎の冷暖房には、少ない消費電力で効率的にエネルギーを得られる「地中熱利用システム」を採用することで、ボイラー等と比較して大幅なランニングコストの抑制を図ります。地中熱利用システムは、ランニングコストのみならず、CO₂排出量の大幅な削減が可能であり、環境性においても優れた自然エネルギー利用システムです。



霧多布市街地から見た新庁舎イメージ

7 内装・ユニバーサルデザイン計画

■安らぎとぬくもりを感じる庁舎

新庁舎の玄関となるエントランスロビーの壁面には、外壁からの連続したレンガと木材を使用することで、来庁者が温かみを感じる空間といたします。内壁や階段の踏板、手すりなどに使用する木材は、浜中町産のものいたします。



1階エントランスホールイメージ

■誰もが利用しやすい庁舎

整備方針「ユニバーサルデザイン化された庁舎」となるよう、高齢者や障がいのある方をはじめ、誰もが利用しやすい環境が整った庁舎といたします。

- ・エントランス付近には、身障者用の駐車場を整備し、雨天時でも雨に濡れずに来庁できるよう、庇を設置いたします。
- ・新庁舎内の通路部分は、車いすやベビーカーを利用する来庁者が余裕をもって通行できる幅を確保いたします。
- ・エレベーターは、内部で車いすが容易に回転できるバリアフリー対応のものを採用いたします。(13人乗り)
- ・多様な状況に対応できる多目的トイレを全ての階に設置いたします。

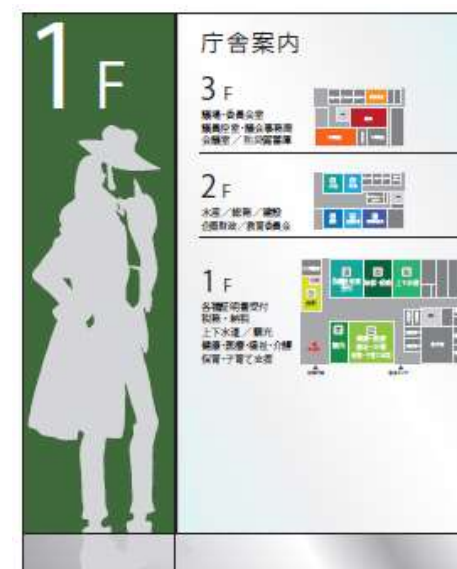


2階階段踊り場イメージ

■わかりやすい案内表示

庁舎内の案内表示は、各フロア入口付近に設置し、誰もが見やすく、わかりやすいものいたします。

案内表示には、当町出身の漫画家モンキー・パンチ氏の人気漫画「ルパン三世」のキャラクターを活用いたします。



1階案内看板イメージ

<表>



<裏>



2階案内看板イメージ



3階会議室イメージ

■シンプルな内装仕上げ

内装材は、機能的でありながら清掃のしやすいものを採用いたします。

また、執務エリアや各種会議室などの内装仕上げは、清潔な印象で飽きのこない白を基本としたシンプルなものを採用いたします。

8 設備計画

■電気設備計画

電力引込	1回線受電
受電設備	キュービクル式
自家発電設備	パッケージ型 500KVA
幹線動力設備	1φ3W 200/100V 3φ3W 200V ケーブルラック、配管配線
照明設備	全館LED照明、一部昼光利用制御、人感センサー制御あり
コンセント設備	ハーネス+0Aタップ
構内交換設備	電話主装置、停電対応電話機、一般電話機
構内情報網設備	別途工事（空配管対応）
拡声設備	非常・業務兼用放送
弱電設備	防災無線、テレビ共同受信、入退室管理、自動火災報知等

■空調設備計画

熱源設備	地中熱利用方式 (地中の熱を水と冷媒を介して熱源とするシステム)
空調機器設備	パッケージ形空調機による冷暖切替、空気式床下冷暖房方式、 地中熱ヒートポンプマルチ、地中熱ヒートポンプチラー
換気設備	パッケージ形空調機による外気処理、全熱交換器、給気ファン、 排気ファン
排煙設備	自然排煙方式
自動制御設備	電子式制御システム、空調機の発停・温度設定、設備機器の運転 状態の監視・警報

■衛生設備計画

衛生器具設備	節水型器具、防汚仕様、尿石抑制システム
給水設備	加圧給水方式
排水設備	汚水・雑排水合流方式、汚水・雨水合流方式（別途工事）
給湯設備	局所式給湯方式
消火設備	屋内消火栓設備
浄化槽設備	合併処理方式

9 工事工程計画

■工事工程

年度 工事	平成30年度			平成31年度									平成32年度																	
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
避難道路	←																													
新庁舎敷地	←																													
防災広場	←																													
役場新庁舎	←																													
現庁舎解体	→																													
防災貯留槽	←																													
防災発電棟	←																													
各種倉庫	←																													

新庁舎業務開始

役場新庁舎は、平成32年12月完成、平成33年1月より業務開始を予定しております。